

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年スタイリストコース	単 位	3
科目コード	科目名 スタイリストワーク a	授業期間	通年

担当教員(代表) : 中野 麗子	共同担当者 :
---------------------	---------

教育目標・レベル設定など スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させる スタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術の習得を目指す。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
・ 導入・スタイリストの歴史	2 コマ	講義
・ 雑誌・スタイリストの仕事	2 コマ	講義・実習
・ スタイリストに必要な道具・現場	2 コマ	講義・実習
・ タグ管理・底ばり	2 コマ	講義・実習
・ スチーマー・アイロンの使い方	2 コマ	講義・実習
・ スタイリストリサーチ	2 コマ	実習
・ スカーフの巻き方	2 コマ	講義・実習
・ アシスタントマナー	2 コマ	講義・実習
・ エリアリサーチ	2 コマ	講義・実習
・ エリアリサーチ実習	2 コマ	実習
・ スタイリストリサーチ共有	2 コマ	講義・実習
・ パンツの裾上げ	2 コマ	講義・実習
・ 試験対策 ファイルまとめ	2 コマ	講義・実習
・ 実技試験 ファイル提出	2 コマ	講義・実習
・ ネクタイ・チーフ	2 コマ	講義・実習
・ お直しの技術	2 コマ	講義・実習
・ プロップ作成	2 コマ	講義・実習
・ 衣裳装飾	2 コマ	講義・実習
・ 物撮り・置き画コーディネート	2 コマ	実習・点検
・ パーソナルカラーコーディネート	2 コマ	講義・実習
・ 実技試験	2 コマ	講義・実習

評価方法・対象・比重 S～C・F 評価 評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書
参考図書
その他資料 プリント

記載者書名欄 中野 麗子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RC2	科 名	スタイリストコース	単 位	1 単位
科目コード		科目名	スタイリストワーク b	授業期間	後期集中

担当教員(代表)：相澤 樹	共同担当者： 木本 晴美、 久保田 智美
---------------	----------------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

スタイリスト・スタイリストアシスタントの仕事の役割を理解させるスタイリストの現場において、即戦力となる実務・知識・技術の習得を目指す。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
プロジェクト説明	スタイリングプランの立て方 テーマ説明グループワーク での実践講義衣裳デザインについて講義	2
スタイリングプラン①	テーマ・イメージ設定検討 衣裳アーティスト講話	2
スタイリングプラン②	テーマ・イメージをより具体的に表現する服 アクセサリー 一小道具検討	2
スタイリングプラン③	撮影準備 プレゼンテーションデータ作成実習	2
コンセプトテーマプレゼンテーション	各グループ コンセプトテーマのプレゼンテーション 講 評	2
スタイリング撮影実習	撮影場所(屋内、スタジオ、屋外ロケ)での実習 編集作 業	2
スタイリング発表	各グループ スタイリングプレゼンテーション 講評	2

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価80% 日常出席評価20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介

企業所属教員による授業科目の導入のため新設 2024
スタイリスト相澤樹による スタイリング実践授業

記載者氏名 木本晴美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	ファッション流通科 2 年スタイリストコース	単 位	1 単位
科目コード	科目名	スタイリングフォト	授業期間	通年

担当教員(代表)： 木村 哲久	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
スタイリング表現に必要なカメラ撮影の基礎知識として、スタジオ撮影、ロケ撮影などの撮影方法の違いを理解し、それぞれの表現技術を習得する。スタイリストワークの授業と連動した撮影実習を通して表現の幅を広げていく。

授業計画＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先				
1	カメラの基礎Ⅰ	スタジオ撮影の基礎知識と技術		
		カメラの名称、使い方(絞り、シャッタースピード、データ保存など)	4コマ	
2	カメラの基礎Ⅱ	スタジオ撮影の基礎知識と技術	4コマ	
		撮影準備とライティングについて(バックペーパーセッティング、データの保存方法など)		
3	スタジオ撮影実習	テーマ:「雑誌」 グループ課題 撮影実習(スタイリストワーク授業と連動)	4コマ	
4	ロケ撮影実習	テーマ:「構図」 個人課題 撮影実習		
		同じファッションスタイルで5種類の構図(表現)の見え方を学ぶ	4コマ	
5	ロケ撮影実習	テーマ:「年代別メイクのビューティー」 グループ課題 (スタイリストワーク授業と連動)		
		※文化スタジオ予定	4コマ	
6	ロケ撮影実習	テーマ:「映画」 グループ課題 撮影実習(スタイリストワーク授業と連動)	4コマ	
7	プレゼンテーション発表、講評	年間課題をまとめ個人プレゼン	4コマ	

評価方法・対象・比重
出席状況・レポート

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介
フリーランスカメラマンとして雑誌や広告の分野で活動していることから、実際の撮影現場で使用する表現方法、技術などを、授業を通して指導していく。

【記載者氏名】 木村 哲久

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RG2	科 名	ファッション流通科 2年スタイリストコース	単 位	2単位
科目コード		科目名	リメイク演習	授業期間	前期

担当教員(代表) : 木本 晴美	共同担当者 : 久保田 智美
------------------	----------------

教育目標・レベル設定など

既成商品を新しい発想とデザインで、再構築させてオリジナル作品の制作を行う。

制作を基にリメイクウェアのデザイン、パターン、素材、テクニック、着こなしについて理解させる。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- オリエンテーション 1コマ 講義
 - ・一般知識、導入
- グループリメイク 7コマ 実習
 - ・デザイン相談
 - ・縫製相談、リメイク方法
 - ・作図、パターン作成、裁断
 - ・バランス点検(着装補正)
 - ・本縫い準備
 - ・本縫い
 - ・まとめ・仕上げ
- 個人リメイク 22コマ 実習(スタイリング発表会含む)
 - ・市場把握・調査
 - ・デザイン相談
 - ・縫製相談
 - ・リメイク方法
 - ・作図・パターン作成
 - ・裁断・印付け
 - ・バランス点検(着装補正)
 - ・本縫い準備
 - ・本縫い
 - ・まとめ・仕上げ
 - ・スタイリング撮影
 - ・スタイリング発表会

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準: 学業評価 60%、授業姿勢40%

主要教材図書 コーディネートテクニックアパレル編Ⅱ 商品構成

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

既成商品を新しい発想とデザインで、再構築させてオリジナル作品の制作を行う。
制作を基にリメイクウェアのデザイン、パターン、素材、テクニック、着こなしについて理解させる。

記載者書名欄 木本 晴美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科 2年スタイリストコース	単 位	3
科目コード	科目名 アパレル造形演習	授業期間	後期

担当教員(代表) :	久保田 智美	共同担当者 :	中野 麗子
------------	--------	---------	-------

教育目標・レベル設定など
異素材を2種類以上縫い合わせたアパレル制作を行う。
作品制作を通じ、アパレル造形の一般知識、技術、素材の特徴と扱い、着こなしについて理解させる。

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
・ 一般知識	2 コマ	講義
・ デザイン相談	2 コマ	講義・実習・点検
・ パターン展開	1 コマ	講義・実習・点検
・ パターン作成	3 コマ	実習・点検
・ 裁断・印付け	4 コマ	実習・点検
・ 本縫い準備	2 コマ	実習・点検
・ 部分縫い	2 コマ	講義・実習・点検
・ 本縫い	20 コマ	実習・点検
・ 仕上げ・提出	2 コマ	実習・点検・提出
・ 発表会	1 コマ	実習・スタイリング点検

評価方法・対象・比重
S～C・F評価 評価基準：学業評価60%、授業姿勢40%
主要教材図書 コーディネートテクニックアパレル編Ⅱ 商品構成
参考図書 各自用意のパターンブック
その他資料
授業の特徴と担当教員紹介
異素材を2種類以上縫い合わせたアパレル制作を行う。 作品制作を通じ、アパレル造形の一般知識、技術、素材の特徴と扱い、着こなしについて理解させる。

記載者書名欄	中野 麗子
--------	-------

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KCZ	科 名	ファッション流通科 2 年コース	単 位	2 単位
科目コード		科目名	スタイリストコース	授業期間	通年
		科目名	アパレル商品論		

担当教員(代表)：久保田 智美	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
スタイリストになるために必要なアパレル商品知識を身につけることを目標とする。
1 年次に習得した商品知識を軸にし、各アイテムの構造やディテールの名称などの知識をより深く理解し、現場で使える商品知識や技術の習得が目標。またスタイリング知識の測定試験やフォーマルスペシャリスト検定準 2 級の対策、必須受験、合格も目標とする。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・アパレル総論、概要	15	ジャケット・スーツの知識②
2	フォーマルウェアの知識①	16	ジャケット・スーツの知識③
3	フォーマルウェアの知識②	17	スカートの知識
4	フォーマルウェアの知識③	18	パンツの知識
5	アパレル商品の柄の知識①	19	サイズ・商品サイズ・計測の知識①
6	アパレル商品の柄の知識②	20	サイズ・商品サイズ・計測の知識②
7	アパレル商品の柄の知識③	21	ニット&カットソーの知識①
8	衿ぐり、衿の名称	22	ニット&カットソーの知識②
9	袖、袖ぐりの名称	23	コートの知識①
10	シャツ、ブラウスの知識①	24	コートの知識②
11	シャツ、ブラウスの知識②	25	コートの知識③
12	シルエット、ワンピースドレスの知識①	26	ランジェリー、フォームウェアの知識
13	シルエット、ワンピースドレスの知識②	27	アパレル小物の知識
14	ジャケット・スーツの知識①		

【評価方法】S～C・F 評価 評価基準：学業評価(授業態度、ミニテスト、前後期試験含む) 60% 出席姿勢 40%

主要教材図書	文化ファッション体系ファッション流通講座②コーディネートテクニック	アパレル編Ⅰ（商品知識）
	文化ファッション体系ファッション流通講座①コーディネートテクニック	アパレル編Ⅱ（商品構成）
参考図書	ファッション辞典 服飾図鑑	
その他資料	TOPSS 検定テキスト フォーマル検定ルールブック	

授業の特徴と担当教員紹介
記載者氏名 久保田 智美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RC	科 名	ファッション流通科スタイリストコース	単 位	1 単位
科目コード	301000	科目名	アクセサリ論・演習	授業期間	通年

担当教員(代表)：齊藤美子	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッションコーディネートに必要なファッショングッズの専門知識と技術を学ぶ。
作品製作を通しアクセサリと衣服のコーディネート力・バランス感覚を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1、花のアクセサリ……………(講義・実習3コマ)

布を使用した花のアクセサリを製作する。
さらに作品を活かすためのビジュアルを合わせて製作し、作品をスタイリングする
(以降の作品においても同様に作品に合わせるビジュアルを製作する)

2、 籐(ラタン)を用いたアクセサリ……………(講義・実習3コマ)

水引結びを籐(ラタン)を用いて制作し、アクセサリの形に仕上げる。

3、蝶ネクタイのアクセサリ……………(講義・実習3コマ)

蝶ネクタイの作り方を理解する

4 ヨーヨーキルトで作るアクセサリ……………(講義・実習2コマ)

ヨーヨーキルトを使ってアクセサリに仕上げる工程を理解させる

5、マジックシートを使ったアクセサリ(修了作品)……………(講義・実習2コマ)

- ・ 水に溶ける特性のあるマジックシートを使用し、アクセサリを制作する
- ・ いままで学習をした布のお花、蝶ネクタイ、籐(ラタン)、
ヨーヨーキルトのテクニックも併せて制作を行い、最終作品を仕上げる

【評価方法】

制作物・授業態度による評価 作品：授業態度・出席状況＝8：2

主要教材図書

参考図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧ 手芸 THE ART OF Manipulating Fabric (Colette Wolff)

その他資料 実物標本、段階標本

授業の特徴と担当教員紹介

籐編みのかごバッグが特徴のオリジナルブランド「yoshiko」を展開し、自らバッグ、アクセサリの制作を手掛けている経歴から、ファッションコーディネートに必要なファッショングッズの専門知識と技術についての授業を実施。

記載者氏名 齊藤美子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	13512	科 名	ファッション流通科 2年スタイリストコース	単 位	2単位
科目コード	74120	科目名	ファッションスタイリング	授業期間	通年

担当教員(代表)：木本晴美	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

ファッションスタイリングの基本的な知識と技術を習得する。時代への適応力客観的に捉えたファッションスタイリングの提案能力を養う。素材や柄、アクセサリ、シルエット、体型カバーなどに視点を置きファッションスタイリングのテクニックの講義を主体にし、スタイリング実習 プレゼンテーションを行う。

- 小物に視点を置いたコーディネート提案・・・
8コマ（講義3コマ 実習（プレゼン含む）5コマ）
 - ・ ネックレスの種類と名称
 - ・ ネックレスの装いと見え方
 - ・ アイウェアの種類と名称
 - ・ メガネフレームと顔のタイプの関係
 - ・ 各自スタイリング実習 プレゼンテーション
- 素材 柄に視点を置いたコーディネートテクニック・・・
8コマ（講義3コマ 実習（プレゼン含む）5コマ）
 - ・ 素材の風合い材質感でのコーディネート方法 コーディネートポイント
 - ・ 様々な柄を使ったコーディネート方法 コーディネートポイント
 - ・ 各自スタイリング実習 プレゼンテーション
- 体型カバーに視点を置いたコーディネート・・・
10コマ（講義5コマ 実習5コマ）
 - ・ 体型観察
 - ・ 体型カバーを総合的に見る
 - ・ 体型カバーを部分的に見る
 - ・ 体型カバーの実践例を提案、発表
- まとめ・・・1コマ（実習）
試験、年度末課題まとめ

評価方法・対象・比重

S～C・F評価

評価基準：学業評価 90%（試験45% 課題平均45%） 授業態度10%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

授業特徴：ファッションスタイリングの様々な種類とテクニックの講義と実習 プレゼンテーション

担当教員：本学院教授 外部にて日本パーソナルスタイリング振興協会理事として活動

記載者氏名 木本 晴美

科コード	科名	ファッション流通科2年 スタ일리ストコース	単 位	2
科目コード	科目名	ヘア・メイク	授業期間	通年

担当教員(代表)：夏目 幸恵	共同担当者：高木 大輔・松本 和子 (資生堂 SABFA)
----------------	----------------------------------

教育目標・レベル設定など

スタイリストとして、さまざまなヘア・メイクの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げる。 美意識・美的センスを養う。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

①メイクの基礎知識	用具の使い方・手順・ナチュラルメイクの展示：実習
②スペースバランス理論	スペースの見極め、ハイライト・シェーディング効果展示：マップ制作実習
③イメージメイクⅠ・Ⅱ	直線イメージ：フレッシュ・クール展示：実習 アイメイク・リップメイクの基本展示(直・曲の描き方 説明)
④イメージメイクⅢ・Ⅳ	曲線イメージ：キュート・エレガント展示：実習 アイメイク・リップメイクの基本展示(直・曲の描き方 説明)
⑤前期試験	イメージメイクの実技試験(1人40分)
⑥メイク研究	メイクアップアーティスト調査：レポート提出
⑦ヘア研究	ヘアアレンジ調査：レポート提出
⑧ヘアスタイルの基礎知識	ヘアの構造、ヘアブラシ、ヘア剤、ヘアピンの種類、 ヘアのまとめ方、編み込み、くせ付のテクニック展示：実習
⑨イメージメイクⅤ	クラシックメイク 1920～1950年 各年代のファッション&メイクの特徴 50年代メイク 展示：実習
⑩イメージメイクⅥ	モダンメイク 1960年 各年代のファッション&メイクの特徴 60年代メイク 展示：実習
⑪イメージメイクⅦ	エスニックメイク 1970年 各年代のファッション&メイクの特徴 70年代メイク 展示：実習
⑫イメージメイクⅧ	アバンギャルドメイク 1980年 各年代のファッション&メイクの特徴 80年代メイク 展示：実習
⑬後期実技試験準備	イメージ作品トータル表現方法の説明：マップ制作
⑭後期実技試験	イメージ作品トータル表現の実技試験(1人45分) 2コマ×14回 —相モデル実習あり—

評価方法・対象・比重

授業作品(ノート含む)評価 + 試験評価 + 出席状況(学業評価80% 授業姿勢20%) [英数字評価]

主要教材図書

参考図書 MAKE-UP BEAUTY SABFA 'S MAKE-UP

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

雑誌、広告、コレクションなどで活躍するプロのヘア・メイクアップアーティストからヘア・メーキャップの技術と知識を学び、スタイリング提案をより理解しやすくし、自己表現の可能性を広げるための授業を実施。

記載者書名欄 夏目 幸恵

科コード	RC2	科 名	スタイリストコース2年	単 位	1
科目コード		科目名	パーソナルカラー	授業期間	後期

担当教員(代表)：小島 有紀	共同担当者：－
----------------	---------

教育目標・レベル設定など

1年次の色彩学や配色理論をもとに、ファッション業界の現場で活用する「似合う色」の習得を目指す。外見の色素による理論的なアプローチ方法を学び、似合う色を見分ける色感を身につけ、スタイリングスキルの応用力向上を図る。（*パーソナルカラー検定3級・2級の内容を含む。全員受験。）

●オリエンテーション・パーソナルカラー概論（1コマ）

- ・パーソナルカラーの本来の目的や意味、似合う色の定義について（色素の考え方）
- ・ファッション業界の現状をふまえたパーソナルカラーの活用法やビジネス展開について（スタイリングに活かす）
- ・「パーソナルアイデンティティ（自分らしさ）」の確立、「自分ブランディング」について（外見と内面の自己実現）
- ・パーソナルカラー検定について

●パーソナルカラーの基本（2コマ）

- ・パーソナルカラーの色の見分け方（色感）／イメージワードの使い方（タイプ別コラージュの作成による色感の習得／ワードのボキャブラリーを増やす）
- ・素材・デザイン・柄・メタリックへの応用／定番色と流行色
- ・色素（肌・髪・眼）の見方／色素チェックの実践（自分自身、対クライアント対策）
- ・色素と似合う色の関係性（色の三属性でとらえる考え方）のセオリー
- ・色素をふまえた第一印象のとらえ方（パーソナルアイデンティティをとらえる／接客への展開方法）

●ドレーピング実践（分析方法の習得）（4コマ）

- ・分析理論、ドレーピング技法、接客コミュニケーションとしてのドレーピング
- ・グループ別ドレーピング実習（自分の似合う色を知る）
- ・課題作成との併行（コラージュ作成・トーンマップ作成）

●パーソナルカラーの活用まとめと「自分ブランディングシート」の作成（2コマ）

- ・自分自身の色素傾向をまとめる／似合う色を活かしたスタイリング提案
就職活動対策、仕事での自分の見せ方、「好き」と「似合う」の違いについて
- ・パーソナルカラーを活かした配色技法：タイプ別の配色方法、統一と変化の考え方、アクセントカラー
- ・ファッション業界での展開まとめ

●コンサルティング概論と「アドバイスシート」作成（スタイリストワークとの連携）（2コマ）

- ・パーソナルカラーをテーマにしたアドバイス理論／コンサルティング接客の理論
接客への活用：色素をほめる、似合う色を活かす、好きな色や流行色・定番色を活かす、配色提案をする
- ・「アドバイスシート」と「スタイリングシート」の作成（実際のスタイリング計画実習）

●パーソナルカラー検定対策（3コマ）

- ・検定対策ポイント講義、過去問題対策、模試

●パーソナルカラー検定受験（1コマ）

*上記の内容を1回の授業内で適宜組み合わせ、実習や検定対策を織り交ぜながら進める。

評価方法・対象・比重

- ①S～C・F 評価／評価基準：学業評価60%（提出物・作品課題の内容の評価、小テスト）
授業姿勢40%（出席状況、授業参加姿勢、提出物の提出状況）

主要教材図書

「パーソナルカラー検定公式テキスト3級」「2級」の2冊：日本カラーコーディネーター協会
「パーソナルカラー検定過去問題」2冊：日本カラーコーディネーター協会

カラーカード199a（日本色研）

その他資料 オリジナルプリント教材

記載者書名欄 小島 有紀

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	スタイリストコース	単 位	1単位
科目コード	科目名	ディレクションワーク	授業期間	前期

担当教員(代表)： 山口 壮太

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

スタイリング表現をするにあたり、その目的をしっかりと捉え明確にすること、また目的実現のためには、何をするべきなのかをきちんと組み立てる、他人と共有する方法を学ぶ。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

①イントロダクション+ディレクションとは何か？(4月9日/2コマ)

- ・過去の実績のご紹介
- ・ディレクションとは何か
- ・「象徴」と「解釈」

②ディレクションを考える～実践演習①～(4月24日/2コマ)

- ・シチュエーションに合わせたスタイリングディレクションの提案 実習

③ディレクションを考える～実践演習②～(5月22日/2コマ)

- ・ヴィジュアルコミュニケーションとは？
- ・比喩表現 実習

④ディレクションを考える～実践演習③～(6月5日/2コマ)

- ・ポートレート撮影 実習

⑤ディレクションを考える～実践演習④～(6月19日～/6コマ)

- ・最終課題 実習

【評価方法】

S～C・F 評価 評価基準:学業評価 50%、授業姿勢 50%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

【記載者氏名】 山口壮太

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RC2	科 名	スタイリストコース	単 位	1 単位
科目コード	503900	科目名	フォト概論	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：湯浅亨	共同担当者：
--------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

撮影現場でスタイリストとして必要な写真の知識を、ポートレート講義、ファッション写真史など通じて学び、役立てていく。また授業の後半に写真集を制作、発表してもらい、プレゼンテーション力、発想力を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

ポートレート講義、ライティング講義、カメラ歴史(各1コマずつ)

ファッション写真を学ぶ前の基礎知識として優れたポートレート写真を見せていく、また光の当たり方によって写真の印象がどのように変化するかを学ぶ。またカメラによって写真表現が大きく変わることも学ぶ。

ファッション写真史(全6コマ)

これまでに撮られた様々な美しいファッション写真をその100年以上の歴史になぞりながら学んでいく。

生徒ひとりにつき1冊、ZINE(簡易的な写真集)を制作、発表してもらう。本の制作を通して写真を見る力、扱う力を養う。

【評価方法】

S-C,F評価 出席、ノート、制作物

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

湯浅亨 2006年文化出版局写真部入社、2013年よりフリーの写真家として雑誌、広告などで活動

記載者氏名 湯浅亨

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	流通 スタイリストコース	科目名 染色演習 I	単 位	1 単位
科目コード			授業期間	前期

担当教員(代表)：眞田玲子

共同担当者： 増田美砂希

概要アパレルデザインを行う上 重要である素材の染色加工に関する専門知識を養う。

理論・技法・工程など実技を通し習得する。 時代に沿った 各種表現方法を分析し構成する。

コマ	内 容
1	ガイダンス 授業内容 課題説明
2	課題 1 絞り染め 講義絞りによる防染の仕組みと可能な表現について解説する
3	実習縫い絞り、糸でくる絞り技法を使いエコバックを染色する
4	〃
5	講義 課題 2 型紙捺染 孔版プリントの仕組みを説明しデザイン化の意味を説明する 実習各自オリジナルロゴマーク、マスコット イラストなど図案をデザインする
6	〃
7	型紙作り 捺染 刷り込み実習
8	〃
9	講義 課題 3 原毛によるフェルト制作 ドライフェルトによるオリジナル ファッショングッズ制作 〃
10	〃
11	ウェットフェルトによるオリジナル ファッショングッズ制作
12	〃
13	まとめ
14	制作物考察とプレゼンテーション

評価方法・・

① 試験0% ②課題提出70%③授業姿勢10%④出欠席20%⑤その他0%による総合評価

主要教材図書 アパレル染色論(文化服装学院教科書)

参考図書 なし

その他資料 各種技法の作業工程 レシピ配布

授業の特徴と担当教員紹介

眞田玲子 企業におけるテキスタイルデザイナーの経験をもとに繊維素材の実用性、アパレルデザインにおける必要な図案や素材との調和など染色加工の企画制作を指導。

記載者氏名 眞田玲子

文化服装学院教務部

担当教員(代表)：	共同担当者：
-----------	--------

1 年次に習ったデザインソフトの復習、応用スキルの向上。

実際にアパレル業界、デザイン業界で使われるデザインに関する基本知識を学ぶ。

卒業後に自分たちの進みたい道で活かせる指示書や、資料の作成スキルを身につける。

[illegible]

S~C・F評価 評価基準：出席率・授業態度50% 課題制作物50%

その他資料 教員制作の資料と問題

授業の特徴と担当教員紹介

・フリーランスグラフィックデザイナー

2019年独立。

アパレルブランド、冊子、パッケージデザイン等、行政や企業、アーティストなど幅広いクライアントにデザイン提供を行っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ファッション英会話	授業期間	前期

担当教員(代表)：増田和香子	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

今までに学んだ基本的な文法知識を基に、簡単な英語でコミュニケーションをとることを目標とする。少人数クラスの利点を生かし、学生が自主的に英語を話そうとする意欲を涵養する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
Unit 1: Self-introduction	演習	1	Unit 25: Adjectives for fashion	演習	1
Unit 8, 9, 10: Review of grammar	演習	1	Unit 27: Structure of a presentation & Sequence connectors (How to make it?)	演習	1
Unit 20: Fashion items	演習	1	Unit 28/29: Large numbers and shopping	演習	1
Unit 21: Colors-Patterns	演習	1	Unit 31: Resume	演習	1
Unit 22: Laundry care	演習	1	Unit 32: Job interview	演習	1
Unit 23/Unit 26: Body and face parts	演習	1	Unit 33: fashion show	演習	1
Unit 24: Presentation	演習	1		演習	

【評価方法】平常点(出席、クラス参加)30%、授業中の小テスト30%、ライティング10%、プレゼンテーション30%の評価基準を用い、S~C・F評価をする。

授業の特徴と担当教員紹介

テキストは文化服装学院オリジナルのテキストを用い、文法事項やファッション関係の語彙を再確認する。

主要教材図書	<i>Essential English for Fashion Students</i> (文化服装学院編)
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名	増田和香子
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RB2	科 名	ファッション流通科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	TOEIC	授業期間	通年

担当教員(代表) : 三村 典召	共同担当者 :
------------------	---------

<p>【授業概要、到達目標・レベル設定】</p> <p>TOEIC テストでの 600～700 点程度の取得。 またスコアに見合うだけの英語力を身につける。</p>
--

<p>【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
--

テーマ	方法	コマ数
コースと TOEIC の概要紹介	演習	1
接尾辞と品詞	演習	1
Part 1 解説と演習	演習	1
Part 2 解説と演習	演習	1
Part 3 解説と演習	演習	1
Part 4 解説と演習	演習	1
接頭辞と意味	演習	1
Part 5 解説と演習(1)	演習	1
Part 5 解説と演習(2)	演習	1
Part 6 解説と演習	演習	1
Part 7 解説と演習(1)	演習	1
Part 7 解説と演習(2)	演習	1
Part 7 解説と演習(3)	演習	1

<p>【評価方法】 学業評価(50%)、 授業姿勢(50%)</p>

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>TOEIC の出題形式に慣れるために、目標レベルにあったテキストでの問題演習を繰り返すことで、Part 毎の出題傾向を捉える。</p>
--

<p>主要教材図書 増補改訂版 はじめての TOEIC L&R テスト 全パート総合対策</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者氏名 三村 典召</p>

2024年度カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年／ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
科目コード 101091	科目名 ニット A（自由選択）	授業期間	前期

担当教員（代表）：前田 亜希子	共同担当者：
-----------------	--------

<p>概要</p> <p>ハンドニットの一般知識（素材・道具・編み地）と棒針、鉤針の編み方の理解と作品作りの知識を習得し、ニットの可能性を広げる。</p>

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先</p>
--

回数	内 容	方法	コマ
1	ニットの一般常識、指編み実習	講義・演習	1
2	棒針編み基礎、作り目、表編み（パール編み） JIS記号	講義・演習	1
3	棒針編み基礎、裏目（メリヤス編み・ゴム編み）	講義・演習	1
4	棒針編み基礎、三原組織、伏せ止め	講義・演習	1
5	鉤針基礎（鎖編み、細編み） JIS記号について	講義・演習	1
6	鉤針基礎（細編み・中長編み・長編み）・長編みの円	講義・演習	1
7	ニットの素材・ファンシーヤーン	講義	1
8	各自制作する作品についての指導、ゲージの取り方、作図・計算	講義・演習	1
9	各自作品制作・指導	演習	1
10	各自作品制作・指導	演習	1
11	各自作品制作・指導	演習	1
12	各自作品制作・指導	演習	1
13	ニット総括、作品発表会	講義・発表	1

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>提出物… 80% 授業姿勢・出欠席… 20%</p>

<p>主要教材図書 講座 ニットの基礎技術 抜粋プリント</p> <p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>ハンドニットを中心にニットの基礎を理解し、演習を通じてニットの楽しさや多様性を知り、ニットの可能性を広げる授業。ハンドニットから工業ニットまで幅広いニットの知識と技術を専門とする教員が授業を展開する。</p>
--

記載者氏名 前田 亜希子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年 / ファッション流通高度専門士科 1～4 年	単 位	1 単位
RA1234	科目名 ソーイング a	授業期間	前期
科目コード			

担当教員(代表) : 中野 麗子

共同担当者 :

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

各自のコーディネートにプラスすることでより効果的に表現できるアイテム(つけ衿・リメイク)を2点制作する。各自のデザインに応じた制作方法を指導、理解させる。

コマ	内 容
1	導入、デザイン相談(つけ衿)
2	デザイン決定、裁断、解体
3	点検・実習
4	点検・実習
5	点検・実習・提出
6	導入、デザイン相談(リメイク)
7	デザイン決定、裁断、解体
8	裁断、解体
9	点検・実習
10	点検・実習
11	点検・実習
12	点検・実習・提出
13	制作物を用いたスタイリング撮影実習(発表会)

S～C・F評価

評価基準 : 学業評価 70% 授業態度30%

主要教材図書

文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニク アクセサリー編

参考図書

その他資料

記載者氏名 中野 麗子

2024 年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年／	単 位	1 単位
科目コード	ファッション流通高度専門士科 1 年～4 年共通自由選択 科目名 選択帽子（布帛）	授業期間	前期

担当教員(代表)：徳満 真紀	共同担当者：
-------------------	--------

概要： 布帛による基本的な帽子を製作し、知識と技術を取得する。
発表会を行うことにより、帽子を使用したアクセサリコーディネートを行う。

I. 帽子の一般知識導入…（講義・実習）1 コマ 1 歴史・名称・素材・用具・かぶり方・マナー 2 自分のハットサイズの測り方を学び、採寸
II. ベレー帽製作…（講義・実習）5 コマ ベレー帽の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
III. 自由作品製作（キャップ・クロッシュー・ハンチング・キャスケット・ヘッドアクセサリ）…（講義・実習）6 コマ 各自製作の帽子の構造を理解する 1 パターン製作 2 裁断・印つけ・本縫い
IV. 発表会……1 コマ 1 製作した作品に合わせトータルコーディネートを行い発表会実施

【評価方法】	1 S・A・B・C・F 評価 2 評価基準…学業評価 50% 授業姿勢 50%
--------	---

主要教材図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニックアクセサリ編 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
参考図書	文化ファッション大系 ファッション流通講座③コーディネートテクニック演出編 I 文化服装学院編 学校法人文化学園 文化出版局
その他資料	なし
授業の特徴	布帛の帽子に関するパターン作りと縫製方法を身につけ、帽子を活かしたコーディネート発表会を行う。
担当教員紹介	文化服装学院 専任教授

記載者氏名	徳満 真紀
-------	----------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名	単 位	単位
科目コード	科目名	授業期間	前期

担当教員(代表)：関根 麻里恵

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要：ファッションを伝えるメディア（媒体）の一つとして映画を捉え、映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを学ぶ。具体的には、スターがスター足らしめた時代（1910-60年代）と「ニュー・シネマ」以降（1960年代後半-現在）と大きく二つに分け、①映画の技術の発展（サイレントからトーキー、モノクロからカラーなど）と衣装の見せ方の関係性、②映画のなかの俳優とファッションの関係性、③そこに描き出されていた理想の男らしさ・女らしさ、④当時の社会との関係、⑤観客の眼差しの変遷について、特筆すべき映画の具体例を交えながら検討していく。

到達目標：映画のなかのファッションが時代によってどのような役割を担っていたかを理解し、ファッションの魅力を人に伝えられるように言語化（＝レポート提出）することを目標とする。

レベル設定：映画を定期的に鑑賞していて、映画とファッションの関係やジェンダーに興味があり、なおかつそれを知ろうとする向上心のある学生が好ましい。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
第1回 イントロダクション	講義	1
第2回 映画・ファッション・ジェンダーの関係	講義	2
第3回 1910年代-1920年代：サイレント時代	講義	3
第4回 1930年代-1940年代：ハリウッド映画黄金時代	講義	4
第5回 映画作品鑑賞①	講義	5
第6回 1950年代-1960年代前半：娯楽大作主義時代	講義	6
第7回 1960年代後半-1970年代前半：アメリカン・ニューシネマ、パニック映画時代	講義	7
第8回 映画作品鑑賞②	講義	8
第9回 1970年代後半-1990年代前半：ニュー・アメリカン・ドリーム、ビデオ時代	講義	9
第10回 1990年代後半-：CG時代	講義	10
第11回 映画作品鑑賞③	講義	11
第12回 LGBTQ映画とファッション	講義	12
第13回 まとめ	講義	13

【評価方法】

①S～C・F評価。出席（40％）＋コメントシート（10％）＋レポート（50％）

主要教材図書 なし

参考図書

川本恵子『新装版 魅惑という名の衣裳―ハリウッド・コスチュームデザイナー史』株式会社キネマ旬報社、2009年。
村山匡一郎編『映画史を学ぶ クリティカル・ワーズ【新装増補版】』フィルムアート社、2013年。

その他資料 適宜配布

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：ファッションも映画も、その当時の社会的背景や技術に影響をうけて発展・衰退・進化をしているメディアであることを、歴史を踏まえながら理解することで、ファッション、映画双方への理解を深めることができる。

担当教員紹介：専門は表象文化、ジェンダー・セクシュアリティ、文化社会学。ファッション批評誌『vanitas』（アダチプレス、2013年）のほか、『ユリイカ』『現代思想』などに寄稿。共著に『ポスト情報メディア論』（ナカニシヤ出版、2018年）、『「百合映画」完全ガイド』（星海社、2020年）、『クリティカル・ワード ファッションスタディーズ―私と社会と衣服の関係』（フィルムアート社、2022年）、『ポストヒューマン・スタディーズへの招待―身体とフェミニズムをめぐる11の視点』（堀之内出版、2022年）、共訳に『ファッションと哲学』（フィルムアート社、2018年）がある。（2020年6月現在）

記載者氏名 関根麻里恵

っている。

実務で使えるテクニックや基本的なソフトの動かし方などを、幅広いクライアントとの仕事経験を活かし、
生徒に興味を持ってもらえるような授業運営を行う。

記載者氏名 山本 拓

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科 2 年 スタイリストコース	単 位	2 単位
科目コード	科目名 特別講義Ⅱ	授業期間	通年

担当教員(代表)： 木本 晴美	共同担当者： 久保田 智美
-----------------	---------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
スタイリストや関連職種で活躍されている方々の講義や校外授業を通じて、幅広く業界の知識を深める。

授業計画】

・ 現代美術作家 現代アートを語る	2コマ	講義
・ 生成AIを使用してのスタイリング実習	1コマ	講義・実習
・ 映画・ドラマのスタイリスト	1コマ	講義
・ リース会社の現場	2コマ	講義
・ アーティストの衣裳・アシスタントの仕事	1コマ	講義
・ コレクショントレンドからの情報	2コマ	講義
・ 衣裳会社のスタイリスト	1コマ	講義
・ スタイリストの仕事	1コマ	講義
・ スタイリストにおけるファッションロー	1コマ	講義
・ 着物のコーディネート	2コマ	講義
・ フラワースタイリストの仕事	2コマ	講義・実習
・ アクセサリーデザイナーの仕事	3コマ	講義・実習
・ アートディレクターの仕事	1コマ	講義
・ ファッションデザイナーとスタイリストの役割	1コマ	講義・実習
・ プロップスタイリスト	1コマ	講義・実習
・ ジャケット写真の撮影とスタイリストの立ち位置	2コマ	講義・実習
・ メディアに合わせたメイクとスタイリストの関わり	1コマ	講義・実習
・ 校外授業 映画・美術館・観劇など	5コマ	実習
		30コマ

評価方法・対象・比重

履修認定（P表示）評価基準： 学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし
参考図書 なし
その他資料 なし
授業の特徴と担当教員紹介
スタイリストや関連職種で活躍されている方々の講義や校外授業を通じて、幅広く業界の知識を深める。

記載者氏名 木本 晴美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科2年 スタイリストコース	単 位	1単位
科目コード	科目名 校外研修	授業期間	後期

担当教員(代表)：木本 晴美

共同担当者：久保田 智美

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 研修旅行（企業見学（KCI ギャラリー・ワコールミュージアム）グループ散策（神社、仏閣、庭園の鑑賞））、文化体験を通し、ファッション分野を幅広く理解させる。

【授業計画】

テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

研修旅行（11月27日（水）～11月29日（金））

日程 京都

内容 【1日目】

企業見学 ワコールミュージアム・KCI ギャラリー・ワコールミュージアム

自由散策 寺院・仏閣見学・庭園鑑賞

ホテルグランヴィア京都 テーブルマナー研修

【2日目】 グループ研修実施

【3日目】 京都伝統文化体験（選択）

- 1 手織体験
- 2 つまみ細工体験
- 3 組みひも体験
- 4 匂い袋体験
- 5 金箔友禅体験

評価方法・対象・比重

履修認定（P表示）評価基準：学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者氏名 木本 晴美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	RC2	科 名	ファッション流通科2年 スタイリストコース	単 位	1～5 単位
科目コード		科目名	インターンシップ a. b. c. d. e	授業期間	通年

担当教員(代表)：木本 晴美	共同担当者：久保田 智美
----------------	--------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

実際の現場での実習や見学を通して、スタイリスト業務の種類とその特徴、仕事の手順などを理解し、現場に即したコミュニケーションスキルやビジネスマナーを習得します。

通常授業時でのインターンシップ、夏期休暇中の自己開拓インターンシップとの両立で行う。

1 単位分 必修

他単位分 自由選択となる

●目的

スタイリスト業務の実習及び見学を通して、スタイリストの仕事の理解と現場に則した知識・技術の修得を目的とする。

- ・ スタイリスト業務の種類とその特徴
- ・ 仕事をスムーズにすすめるためのコミュニケーションスキルとビジネスマナー
- ・ スタイリストの仕事の流れと手順
- ・ 商品の借用と返却の仕方、またその取り扱い上の注意事項、など

●現場実習の主な内容

- ・ 商品借用・返却の同伴、またその準備
- ・ 商品タグの取り扱い（保管・復元等含む）
- ・ アイロンかけ、靴の底貼り
- ・ 裁縫（裾上げ・ボタン付け）
- ・ 撮影現場の立ち会い、補佐業務
- ・ モデルへの着せつけ

●研修先 スタイリスト（個人）、スタイリスト事務所、リースショップ含む

- 1 単位 35 時間以上
- 2 単位 70 時間以上
- 3 単位 105 時間以上
- 4 単位 140 時間以上
- 5 単位 175 時間以上

【評価方法】

実習時間計算での P 評価

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 木本 晴美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科2年 スタイリストコース	単 位	1単位
科目コード	科目名 コラボレーション	授業期間	通年

担当教員(代表)： 木本 晴美

共同担当者： 久保田 智美

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- ・外部講師や企業とのコラボレーション活動に個人又はグループで参加し、企業やアーティストとの共同制作・実務体験をする中で知識や技術を身につける。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・コラボレーション企画の内容は、スタイリストとして教育効果が得られるものを選び、学生の自主性を尊重し参加させる。

評価方法・対象・比重

出席状況・レポート

参加出席状況、課題、レポート提出により履修認定(P評価)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

授業の特徴と担当教員紹介

各自の専門性迫及と業界・業態・職業自体への理解を深める

記載者氏名 木本 晴美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RC2	科 名 ファッション流通科2年 スタイリストコース	単 位	1 単位
科目コード	科目名 イベント実習 a	授業期間	前期

担当教員(代表): 木本 晴美	共同担当者: 久保田 智美
--------------------	------------------

教育目標・レベル設定など

リメイク演習と連動し、新入生を歓迎するイベントの立案・実施をする。
リサーチ、コーディネート、編集等グループにて実習を行い、コミュニケーション能力を養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●導入 1コマ 講義・実習
グループテーマ決め

●グループワーク 4コマ 実習

- ・展示案
- ・展示準備

●撮影準備 2コマ 実習
・撮影準備
・コーディネートチェック
・ロケハン・演出確認

●撮影 1コマ 実習

●編集 1コマ 実習

●準備・発表・片付け 4コマ 実習

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価 60%、授業姿勢 40%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

リメイク演習と連動し、新入生を歓迎するイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 木本 晴美

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位	2
科目コード	科目名 イベント実習 b	授業期間	後期集中（自由選択）

担当教員(代表) : 木本 晴美	共同担当者 : 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
---------------------	--

教育目標・レベル設定など
自由選択で行うイベント実習。イベント実習の集大成として、ファッションショーを各パートに分かれて活動する。ファッションイベント制作で、個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力も養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 顔合わせ 検討会 4 コマ 講義・実習
 - ・各パート係選出・決定
 - ・各パートにて検討会
- 各パート実働 12 コマ 実習・点検
 - ・各パート活動を通してファッションショーの仕組みと効果的な演出方法を学ぶ
 - ・各シーンでのフィッティング点検
 - ・エフェクト(音楽・照明・映像)点検
- 準備 リハーサル 9 コマ 実習・点検
 - ・各パートでの実習 準備リハーサル
- 本番 4 コマ 実習
 - ・各パートでの実働
- 反省会 片付け 1 コマ 実習・まとめ
 - ・各パート片付け・反省会

評価方法・対象・比重
S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介
イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード RB2	科 名 ファッション流通科 2 年	単 位 1
科目コード	科目名 イベント実習 c	授業期間 後期集中(自由選択)

担当教員(代表): 木本 晴美	共同担当者: 久保田智美 門元伸子 砂生政信 佐藤雄太郎 薫森三義 野口恭子 齋藤房枝
--------------------	---

教育目標・レベル設定など

自由選択で行うイベント実習での企画運営。イベントの企画立案を学び、イベントの構築を行う。
ファッションイベント制作での個々の知識と技術を結集、またコミュニケーション能力を養う。

授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

●企画立案

・企画スタッフ公募

学生個々で企画立案レポート作成 1 コマ 実習

・テーマ設定

テーマの検討・決定 3 コマ実習・点検

・シーン設定

シーンの検討・決定 4 コマ実習・点検

・プロモーション

プレスリリース案検討・決定 2 コマ実習・点検

・各シーン内容の構築

各シーンについての内容細部検討 4 コマ

評価方法・対象・比重

S～C・F評価 評価基準：学業評価 40%、出欠評価 60%

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

イベント実習の集大成としてファッションイベントの立案・実施をする

記載者書名欄 砂生政信

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	RC2	科 名	スタイリストコース	単 位	4単位	
科目コード☒		科目名	卒業制作	授業時間	後期	
【授業概要、到達目標・レベル設定】 スタイリストコースの最終課題に相応しいテーマを各自が設定し、ディレクション・スタイリング・撮影・メディア加工・媒体制作をし、プレゼンテーション、展示形式で発表をする。						
【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先						
テーマ			授業進行			コマ数
企画立案			2年間の集大成として相応しいテーマ設定 企画の立て方			1
リサーチ コンセプト立案			研究テーマ立案 ロケ地・スタジオ・モデル・フォトグラファー・ヘアメイク選出			2～5
プレゼンテーション資料作成			内容点検・各自プレゼン資料作成			6～9
企画プレゼンテーション			企画プレゼンを行う。企画にブレがないよう意識付ける			10～12
制作物作成・撮影準備			撮影に必要な衣裳小道具作成・ロケ地予約・スタッフ日程調整			13～22
撮影			各自撮影実習			23～30
途中点検・データ加工・媒体作成			途中点検、進捗確認・データ加工・各自の媒体作成 プレゼンテーション資料作成			31～35
成果プレゼンテーション			成果プレゼンを行い、他己評価を得る。投票を行い選抜者選出。後日展示スペース決定。			36～39
展示案立案・小道具制作			各自のスペースに合わせ、展示案立案・小道具作成			40～43
展示準備			各自会場にて準備			44～47
展示			本番			48～52
片付け・会場撤去			各自展示物撤去			53
【評価方法】 S～C・F評価 評価基準：課題成果物 展示 プレゼンテーション80% 日常点出席20%						

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介	2年間の集大成 ファッションスタイリングを制作 展示発表する。
--------------	---------------------------------